

## ●医療的ケア児とは

近年、妊婦の高齢化や医療（新生児医療・救急医療など）の進歩により、乳児死亡率が低下し、同時に後天的な疾病や事故による死亡率も低下している。そのため、長期的に医療の助けを必要とした状態で在宅生活を送る児童が増えている。



## ●医療的ケアとは

**！怠れば生命にかかわるケア！**

### 人工呼吸管理および酸素療法

- 呼吸が上手ではないため、人工呼吸器または酸素吸入器で呼吸をサポート

### 経管栄養

- 食べることが上手ではないため、鼻から胃へ通したチューブ、または胃に穴を開けて直接つなげたチューブを経由して流動食を注入

### 痰の吸引

- 飲み込むことが上手ではないため、唾液や痰を誤嚥しないよう、機械で吸引

### 導尿

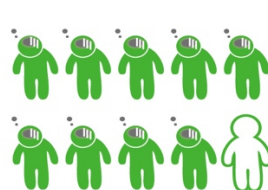
- 排尿が上手ではないため、尿道にチューブを挿入して、排尿を手助け

## ●医療的ケア児の問題

・主たる介護者（主に母親）の負担が大きい

- ケア児を預けるところがない ⇒ 働けず、ママ友もできない。母自身のメンテナンスができない ⇒ 社会的に孤立し、情報の共有もできない。心身ともに疲弊する
- 24時間、片時も目が離せず、24時間のケアが必要 ⇒ 生まれたばかりの新生児がいるような生活。しかも、終わりがない！
- 親は古い、子は成長する ⇒ 誰がお風呂に入れる？ 誰が生活を支える？
- 母 = (子育て、家事 + 医療、介護) - (仕事 + 趣味 + 休息)

	保育園	幼稚園	児童発達支援事業
障害児のお預かり	△	△	○
医療的ケア	×	×	○
医ケア児のお預かり	×	×	×



9人/10人  
 十分な睡眠を取っていない

・経済的負担が大きい

- 介護保険の適用ではない ⇒ 利用できる福祉サービスが限られる ⇒ 自己負担

・きょうだい児の負担が大きい

- ケア児に母の手が取られる ⇒ 我慢することがいっぱい！
- ケア児を預けられない ⇒ きょうだいの行事、部活の応援、PTA活動への参加などが制限される
- 一緒に出かける際にはバリアフリーであることが条件 ⇒ お出かけ先が限定される